◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	調和のとれた土地利用の推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市域
基本事業コード	111-01		目的（どうしたいのか）	適切でバランスの取れた土地利用を計画的に推進する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	1	土地利用・市街地整備						
施策の方向	1	調和のとれた土地利用の推進						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	都市計画審議会運営事務事業	事務事業コード	111-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市都市計画審議会	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	適正かつ円滑に運営する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	都市計画の決定・変更にかかる案件を審議会に付議又は諮問し、審議会の議決、意見を求める。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 3,149（3,149）　29年度（当初）予算額 3,307（3,307）	30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	都市計画基礎調査関連事務事業	事務事業コード	111-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	継続・新規：隔年または不定期	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市全域	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	大阪府下の都市化の動向について把握し、都市計画に必要な基礎資料を整備する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	法に基づく基礎調査を大阪府から委託を受け、概ね5年間を1サイクルとし、土地利用現況、建物現況、都市施設、市街地整備の状況等、大阪府が設定した調査項目について調査を行う。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 3,691（3,691）　29年度（当初）予算額 0（0）	30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	生産緑地関連事務事業	事務事業コード	111-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	生産緑地	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市街化区域の緑地の農地の適正な保全を図ることにより、良好な都市環境を形成する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	・生産緑地の新たな指定・買取申出がなされた生産緑地についての事務処理・生産緑地の解除・変更に伴う都市計画変更等の手続き	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 4,060（4,060）　29年度（当初）予算額 3,333（3,333）	30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	良好な市街地の形成	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市域
基本事業コード	112-01		目的（どうしたいのか）	自然環境等にも配慮した秩序ある市街地整備を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	1	土地利用・市街地整備						
施策の方向	2	良好な市街地の形成		屋外広告物に対する指導による適正化率	%	0.0	7.5	35.0
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	都市計画関連証明等発行事務事業	事務事業コード	112-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要	対象（誰を・何を）：市民及び事業者		
	目的（どうしたいのか）：必要とする情報を提供する。		
	手段（事業内容）：・都市計画法に基づく区域区分や地域地区等の証明の交付の求めを受け証明書を発行・都市計画図等の一般販売証明書(1件200円)地形図(1枚500円)都市計画図(1枚1000円)都市計画ﾏｽﾀｰﾌﾟﾗﾝ(1冊1700円)等		

29年度事務事業評価　（ 28年度実施事業 ）　最終結果

総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	369	370	実施
	（ 300 ）	（ 314 ）	

二次評価対象事業

2

事務事業名	航空写真測量事業	事務事業コード	112-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要	対象（誰を・何を）：羽曳野市全域		
	目的（どうしたいのか）：現在の土地利用状況を正確に把握する。		
	手段（事業内容）：毎年の土地利用状況の変化を確認するため、市域全域の航空写真撮影を行い、航空写真図及びデジタルオルソ画像を作成する。作成した航空写真は、固定資産税の課税対象となる家屋・土地の賦課における状況確認にも活用している。		

29年度事務事業評価　（ 28年度実施事業 ）　最終結果

総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	5,310	6,646	実施
	（ 5,310 ）	（ 6,646 ）	

二次評価対象事業

3

事務事業名	屋外広告物許可等事務事業	事務事業コード	112-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要	対象（誰を・何を）：広告物を表示・設置しようとする事業者、市民等		
	目的（どうしたいのか）：大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の申請手続き等の適正な管理を進めることにより、良好な景観の形成や風致を維持するとともに、屋外広告物の安全管理に努める。		
	手段（事業内容）：平成25年1月に大阪府より権限移譲を受け、事務処理を行う。（申請書受理）（手数料納入確認）（審査）（許可書、許可証の交付）		

29年度事務事業評価　（ 28年度実施事業 ）　最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	2,953	2,962	実施
	（ 1,817 ）	（ 2,101 ）	

二次評価対象事業

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	地域の特性を活かしたまちづくり	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市域
基本事業コード	112-02		目的（どうしたいのか）	地域ごとの計画・方針に沿った整備を推進する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値（総計）	29年度 実績	32年度 目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	1	土地利用・市街地整備						
施策の方向	2	良好な市街地の形成						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	地区計画にかかる運用・調整事務事業	事務事業コード	112-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 H29	都市計画課	H30 都市計画課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	羽曳野市全域	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
	目的（どうしたいのか）	区域の特性にふさわしい街並みを計画的に誘導する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
	手段（事業内容）	まちづくりの基本的な方針を示した都市計画マスタープランを着実に推進し、計画的にまちづくりを進めて行くために地区計画制度を活用する。	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	4,060	13,331	実施
	（ 4,060 ）	（ 13,331 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	開発・建築制度の適正な運用	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民等
基本事業コード	112-03		目的（どうしたいのか）	良好な都市環境の整備を促進する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	1	土地利用・市街地整備						
施策の方向	2	良好な市街地の形成						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	建築確認・指導等事務事業	事務事業コード	112-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 建築指導課	H30 建築指導課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	建築物の建築等の行為（建築主、設計者、工事監理者等・申請手続き等建築基準法の遵守）	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	建築確認において市への事前調査制度（確認経由業務）、許認可においては事前協議制度で交通上、安全上、防火上及び衛生上の観点から指導に勤める。	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円 28年度決算額	33,051（28,402）
		29年度（当初）予算額	35,576（31,800）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	建築審査会運営事務事業	事務事業コード	112-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 監察室	H30 監察室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	建築基準法の施行に関する重要事項の調査審議を必要とする案件の土地及び建築物の所有者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	建築審査会は建築基準法第78条に規定される特定行政庁から諮問に応じて建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議する機関であり、案件等が発生した場合に必要に応じて開催され、重要事項の判断をすることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	当市における建築審査会は7名の委員で構成され、重要事項の判断は出席者の過半の賛成を以って同意される。	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円 28年度決算額	9,990（9,990）
		29年度（当初）予算額	11,026（11,026）
		30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	開発許可・指導等事務事業	事務事業コード	112-03-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 建築指導課	H30 建築指導課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	開発行為等を行おうとする事業者等	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	都市計画法令を遵守するよう指導するとともに、本市の良好な都市環境の形成と秩序ある都市機能の整備を促進するため、一定の基準をもって指導することにより、良好な生活環境の形成を図ることを目的とする	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	開発指導要綱及び都市計画法令に関する基準等を定め、それらを遵守するよう指導及び啓発に努める	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円 28年度決算額	24,994（22,061）
		29年度（当初）予算額	24,811（22,411）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	中心市街地の活性化	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	古市駅周辺等
基本事業コード	113-01		目的（どうしたいのか）	広域的な交流の促進による活性化を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	1	土地利用・市街地整備						
施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		古市駅の一日乗降客数	人	20,189	21,039	24,000
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	古市駅西駐車場管理事務事業	事務事業コード	113-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	近鉄古市駅周辺で自動車を駐車したい人	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	駐車場を利用しやすい環境に整え、キスアンドライド交通やパークアンドライド交通の推進を目的として、路上駐車を解消し、歩行者の交通安全を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	市営古市駅西駐車場の管理運営収容台数（時間貸し23台、月極め23台）	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 4,205（−6,583）　29年度（当初）予算額 4,588（−6,377）	30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	古市駅東駐車場管理事務事業	事務事業コード	113-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	近鉄古市駅周辺で自動車を駐車したい人	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	駐車場を利用しやすい環境に整え、キスアンドライド交通やパークアンドライド交通の推進を目的として、路上駐車を解消し、歩行者の交通安全を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	市営古市駅東駐車場の管理運営収容台数（時間貸し15台）	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 2,941（−1,104）　29年度（当初）予算額 2,298（−2,026）	30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	古市駅東広場管理事務事業	事務事業コード	113-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 都市計画課	H30 都市計画課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民及び鉄道利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市民の交流活動を通じた地域の賑わいを創出すると共に、古市駅へ安全安心に移動できることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	改善して継続
事務事業の概要 手段（事業内容）	古市駅東広場の日常清掃管理及び安全管理・広場面積1300㎡	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 B
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 1,144（1,144）　29年度（当初）予算額 1,032（1,032）	30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	羽曳野らしい景観形成	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市域
基本事業コード	121-01		目的（どうしたいのか）	歴史資産や自然等を活用した魅力的な景観づくりを促進する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	2	住環境						
施策の方向	1	景観形成の促進						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	景観地区認定・景観計画届出事務事業	事務事業コード	121-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 H29	都市計画課	H30 都市計画課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	市民・事業者	29年度事務事業評価 （ 28年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業
	目的（どうしたいのか）	市民、事業者等に景観形成の重要性を認識してもらうことにより、羽曳野市のもつ豊かな自然や風土を守り、市民共通の資産としての、良好な景観を創造し、又は保全する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
	手段（事業内容）	・景観地区の各地区内において、提出のあった申請の内容を審査し認定証の交付を行う。・景観計画の各区域内において、提出のあった届出の内容を審査し適合の通知を行う。	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	2,215	2,222	実施
	（ 2,215 ）	（ 2,222 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	安心できる住環境の確保	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	122-01		目的（どうしたいのか）	安心して安全に生活できるようにする。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	2	住環境						
施策の方向	2	安全・快適な住環境の促進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	民間建築物耐震化促進事業	事務事業コード	122-01-01
	総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である	継続・新規	継続
	事務事業の概要	対象（誰を・何を）	昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の所有者	
		目的（どうしたいのか）	耐震性が不足している市内の既存民間建築物の耐震性の向上又は除却を促進し、地震災害による市内の人的・経済的な被害の軽減を図ることを目的とする。	
		手段（事業内容）	建築物の耐震化又は除却にかかる啓発及び情報提供、並びにそれらの促進のための補助金交付。	

法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	H29	監察室	H30	住宅政策推進室
29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果					二次評価対象事業	

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性	実施
単位：千円	24,321	33,640		
	（ 15,859 ）	（ 19,860 ）		

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	市営住宅の管理運営	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市営住宅
基本事業コード	123-01		目的（どうしたいのか）	耐震化等を計画的に推進するとともに、適正な管理運営を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	2	住環境						
施策の方向	3	公的な住宅の再整備		市営住宅耐震化率	%	41.0	41.0	56.0
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	市営住宅管理事務事業	事務事業コード	123-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 建築住宅課	H30 住宅政策推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	低所得者で住宅に困窮している方。	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	入居者が安心・安全な生活を送れるようにする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	住宅設備等の維持管理委託を行うことで専門性の高い業者による点検等が行われ、安心・安全な生活が送れるように支援する。	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
		総事業費（うち市負担額）28年度決算額	42,834
		29年度（当初）予算額	34,254
		単位：千円	（42,834）（34,254）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業	事務事業コード	123-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 建築住宅課	H30 住宅政策推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市営向野各住宅	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市営向野各住宅の未改善棟について東住宅敷地での集約建替えを中長期的な計画に基づき行う。また、耐用年数を超えた木造住宅の用途廃止をすすめ、住宅敷地を売却し基金に積み立て、この事業の財源として活用する。	総合評価・今後の方向性	改善して継続
事務事業の概要 手段（事業内容）	棟単位の改善から未改善棟の集約建替えに移行を行い建設場所の選定と対象入居者へのアンケートの実施。	各視点からの評価 妥当性	B
		有効性	A
		効率性	A
		総事業費（うち市負担額）28年度決算額	217,846
		29年度（当初）予算額	72,894
		単位：千円	（157,499）（72,190）
		30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	市営住宅運営事務事業	事務事業コード	123-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 建築住宅課	H30 住宅政策推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市営住宅の入居者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	低所得者層の住生活の安定を図るため住宅を適正に管理する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	滞納家賃等については、羽曳野市営住宅家賃等滞納整理事務取扱基準に基づき督促状の送付や訪問等を行うなど適切な納入指導を行っている。	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	B
		効率性	A
		総事業費（うち市負担額）28年度決算額	10,186
		29年度（当初）予算額	10,040
		単位：千円	（-58,735）（-62,250）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	空家対策	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	空家等
基本事業コード	124-01		目的（どうしたいのか）	適切な管理の促進により市民の安全を確保するとともに、有効な活用を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	2	住環境						
施策の方向	4	空家対策		空家数	戸	2,650	2,650	2,990
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	空家等対策事業	事務事業コード	124-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	H29 建築住宅課	H30 住宅政策推進室
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	空家の所有者等	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
	目的（どうしたいのか）	市内の管理不全な空家を安全に管理が行えるように支援する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
	手段（事業内容）	平成28年度に実施した空家等実態調査のデータを基に法7条に基づく「羽曳野市空家等対策協議会」を設置し、「羽曳野市空家等対策計画」を策定。	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	16,598	12,955	実施
	（ 11,792 ）	（ 12,955 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	計画的な道路整備	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民等
基本事業コード	131-01		目的（どうしたいのか）	利便性の向上とともに、より安全な道路交通環境の確保を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値（総計）	29年度 実績	32年度 目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	3	道路・交通						
施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の促進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	一般府道郡戸大堀線歩道整備事業	事務事業コード	131-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	H29 道路整備推進室	H30 道路整備推進室
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	当該道路の利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	*
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	車道拡幅及び歩道整備をし、歩行者等の安全と交通の利便性の向上を図ることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価
事務事業の概要 手段（事業内容）	大阪府との事業協力に係る事務の実施細目についての協定書に基づき、用地取得のための測量調査業務を行う。また、大阪府と協力し整備を進める。			

各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	B	B	A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	33,849	33,616	実施
	（ 9,040 ）	（ 7,838 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	道路・橋梁の適切な維持管理	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	道路・橋梁等
基本事業コード	131-02		目的（どうしたいのか）	安全性の向上及び長寿命化を推進するとともに、適切な管理を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	3	道路・交通						
施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の促進		長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕数	橋	2	6	22
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	明示・占有・証明等に関する事務事業	事務事業コード	131-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市道	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	明示：市道と民有地との境界確定を図る。 占有：市道の占用申請及び施工許可を行う。 証明：市道の幅員を証明する。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
手段（事業内容）	明示：市道の境界確定申請のあった土地について、既明示や寄付・帰属・引継ぎ等の書類を調査し、現地立会の上、土地所有者及び利害関係者と協議の上、官民境界確定をし、その境界確定書を交付する。 占有：道路占用許可申請・施工承認申請事務　証明：道路台帳に基づき市道の幅員を証明する。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：8,489（−101,815） 29年度（当初）予算額：8,517（−102,002）
30年度実施の方向性	実施		

2

事務事業名	道路管理事務事業	事務事業コード	131-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	対策の必要な道路とその利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	生活基盤である道路の安全性の確保を図る。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
手段（事業内容）	道路舗装：道路構造物の老朽化や破損に対し、修繕・応急工事を実施する。 道路修繕工事：道路舗装・安全柵・側溝・集水枡等の小規模な破損の修繕。 応急工事　：道路舗装・道路構造物の老朽化や破損に伴う危険箇所の早急な補修。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：131,714（131,714） 29年度（当初）予算額：147,610（147,610）
30年度実施の方向性	実施		

3

事務事業名	橋梁維持補修事業	事務事業コード	131-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	当課で管理している市認定道路に架かる全ての道路橋梁	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業 ＊
目的（どうしたいのか）	そのほとんどが高度経済成長期に架設されたものであり、施設の老朽化や損傷が進んでいるため、老朽化対策、長寿命化対策を実施し、地域の安全・安心を確保する。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 A　効率性 A
手段（事業内容）	平成26年に道路法施行規則が改正され、5年毎の点検など道路管理者の責務が明確化された。平成29年度に管理する全94橋の定期点検・診断を実施、30年度に既存の長寿命化計画を更新し、以後計画的に修繕工事等を実施し、長寿命化対策を進める。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：18,531（18,531） 29年度（当初）予算額：53,416（28,116）
30年度実施の方向性	実施		

4

事務事業名	道路台帳管理事務事業	事務事業コード	131-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	道路を使用する市民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	市道の区域・兼用工作物・占用物件等道路管理上の基礎的な事項を把握し、道路管理事務を円滑に遂行するため、市道の認定、廃止や区域変更に伴う道路台帳の時点修正を行う。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
手段（事業内容）	道路台帳の整備を行う。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：14,023（14,023） 29年度（当初）予算額：16,341（16,341）
30年度実施の方向性	実施		

5

事務事業名	道路等維持管理事業	事務事業コード	131-02-05
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 維持管理課	H30 維持管理課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	道路	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	安全・安心・快適に使える	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 A　効率性 B
手段（事業内容）	①道路維持管理に関する苦情等の対応 ②道路施設の修繕 ③カーブミラーの新設及び管理	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：23,430（23,430） 29年度（当初）予算額：23,311（23,311）
30年度実施の方向性	実施		

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	交通ターミナル機能の強化	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	鉄道駅等
基本事業コード	132-01		目的（どうしたいのか）	交通機関の利便性の向上と、通行者の安全性を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	3	道路・交通						
施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	恵我ノ荘駅前南側広場整備事業	事務事業コード	132-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 道路整備推進室　H30 道路整備推進室
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	駅前南側の利用者全ての方	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業 ＊
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	文化・ふれあい交流拠点として、駅利用者の利便性と安全性確保、及び交通ターミナル機能の強化を目指します。	総合評価・今後の方向性	拡充・重点化
事務事業の概要 手段（事業内容）	府道郡戸大堀線歩道整備事業との事業区域の調整及び次年度の委託業者への契約準備。	各視点からの評価	妥当性 B　有効性 B　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 1,083（1,083）　29年度（当初）予算額 16,511（16,511）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	恵我之荘市営駐輪場管理運営事務事業	事務事業コード	132-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 道路公園課　H30 道路公園課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	通勤・通学など日常的な自転車等の利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	恵我ノ荘駅及び駅周辺施設への自転車等の利用者が安全かつ快適に駐輪できるとともに、駅周辺での放置自転車等の発生を防ぐことを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	現在、シルバー人材センターに管理運営を委託しており、引き続き利用者の利便性向上に努める。	各視点からの評価	妥当性 B　有効性 B　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 9,283（6,252）　29年度（当初）予算額 12,854（9,354）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	鉄道駅のバリアフリー化	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	鉄道駅
基本事業コード	132-02		目的（どうしたいのか）	だれもが安全で円滑に移動できる環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	3	道路・交通						
施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	上ノ太子駅バリアフリー化整備事業	事務事業コード	132-02-01
	総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	継続・新規：終了	法定・自治：自治事務（任意のもの）	担当（H29）：都市計画課（H30）
	事務事業の概要 対象（誰を・何を）	鉄道利用者等	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
	事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	高齢者や障害者をはじめすべての人が安全・安心で円滑に移動できる鉄道駅とする。	総合評価・今後の方向性：完了	各視点からの評価：妥当性 A／有効性 A／効率性 A
	事務事業の概要 手段（事業内容）	スロープ計2箇所、ホームに内方線付き点状ブロックを設置、誘導・警告ブロックの整備、券売機蹴込み改良、誘導チャイムの設置、待合室扉改良、触知案内図の設置、点字運賃表の設置	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：15,158（15,158）／29年度（当初）予算額：0（0）／30年度実施の方向性

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	公共交通網の管理	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	132-03		目的（どうしたいのか）	生活の利便性を向上させる。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	3	道路・交通						
施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	公共施設循環バス運行事業	事務事業コード	132-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 H29	管財用地課	H30 管財用地課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	市民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
	目的（どうしたいのか）	市民生活の利便の向上と福祉の充実を図るため、市役所を起点に市内公共施設及び、各地区にある停留所を循環し、市民に無料で利用していただくサービスを提供する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
	手段（事業内容）	平日及び土曜日に市内85ヶ所のバス停をバス7台・8ルートで市内全域をカバーし、1日約34便運行する。	各視点からの評価	妥当性 B / 有効性 A / 効率性 B

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	43,047	44,153	実施
	（ 43,047 ）	（ 44,153 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	交通安全対策の推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	133-01		目的（どうしたいのか）	だれもが安全に安心して通行できる交通環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	3	道路・交通						
施策の方向	3	交通安全対策の推進		駅周辺における放置自転車撤去数	台	837	476	540
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	臨時運行許可等に関する事務事業	事務事業コード	133-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	法定受託事務
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	車両の臨時運行を必要とする者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	道路運送車両法及び同法施行規則に基づき、未登録や検査証の有効期限が過ぎた自動車に、一時的に運行許可を与える。 ※当該シートにおける自動車は、道路運送車両法第2条第2項に定めるものをいう。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	自動車の新規登録、新規検査、自動車検査証が有効でない自動車の継続検査その他の検査の申請をするために必要な回送を行う場合、有効期間（5日を超えない範囲）を附して臨時運行の許可を行う。また、有効期間満了後5日以内に臨時運行許可証及び臨時運行許可番号標の返納を求めている。 臨時運行許可申請手数料：1件750円	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 5,414（5,049）　29年度（当初）予算額 5,309（4,909）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	交通安全対策施設等整備事業	事務事業コード	133-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	対策の必要な道路とその利用者。	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	交通の円滑化を図り，併せて交通安全と事故防止のため，区画線，防護柵及び道路照明を整備する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに設置要望を受けた危険箇所等の整備区画線、防護柵、道路照明の設置	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 29,594（29,594）　29年度（当初）予算額 26,868（26,868）
		30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	交通安全啓発活動事業	事務事業コード	133-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市民の交通安全に対する意識と交通マナーの向上を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	市民の交通安全に対する意識と交通マナーの向上を図るため、羽曳野警察署管内の行政（羽曳野市・藤井寺市）、警察、交通安全協会の4者が協働し、春・秋の全国交通安全運動期間等で、「交通安全市民大会」、「交通安全運転講習会」、「交通安全街頭キャンペーン」、「めいわく駐車対策キャンペーン」などの各種イベントを実施している。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 7,943（7,943）　29年度（当初）予算額 8,697（8,697）
		30年度実施の方向性	実施

4

事務事業名	放置自転車対策事業	事務事業コード	133-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 道路公園課	H30 道路公園課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	自転車等の利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	駅周辺道路等における自転車等の駐車秩序を確立することにより、自転車等の放置による生活環境の悪化を防止し、災害時の緊急避難路の確保並びに歩行者の安全及び通行機能の保持を図ることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	市内5駅の周辺において、市条例に基づき『自転車等放置禁止区域』を設け、放置されている自転車等を撤去・保管するとともに、放置者に対する街頭指導を行う。また、禁止区域の周知を目的とした路面標示材の整備及び補修も併せて行う。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 15,102（14,791）　29年度（当初）予算額 18,971（18,656）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	緑化推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民等
基本事業コード	141-01		目的（どうしたいのか）	みどり豊かなうるおいのある環境づくりを図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	4	みどり・空間整備						
施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり		公園・緑地の充実と緑化の推進に満足している市民の割合	%	21.0	不明	25.0
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	市民緑化推進事業	事務事業コード	141-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 みどり推進室	H30 みどり推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	誕生記念植樹申請者、健康まつり来場者、グリーンポックス市民登録団体	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	誕生記念植樹1本(プレート付き)、都市月間PRにおける活動、グリーンポックス市民貸出団体への花苗や球根の無料配付	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 4,858（4,858）	29年度（当初）予算額 4,858（4,858）	30年度実施の方向性：実施

2

事務事業名	公共緑化推進事業	事務事業コード	141-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 みどり推進室	H30 みどり推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	公共施設	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	公共施設への花苗及びチューリップ球根の配付	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 2,183（2,183）	29年度（当初）予算額 2,217（2,217）	30年度実施の方向性：実施

3

事務事業名	緑化推進団体支援事業	事務事業コード	141-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 みどり推進室	H30 みどり推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	大阪菊花会、羽曳野市みどりの推進協議会、羽曳野市緑の少年団	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	緑化推進団体の育成	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	大阪菊花会－菊花大会、菊花講習会、菊苗販売羽曳野市みどりの推進協議会－都市月間PR活動、花苗無料配布羽曳野市緑の少年団－駅前花いっぱい活動、緑の募金活動	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 6,360（6,360）	29年度（当初）予算額 6,382（6,382）	30年度実施の方向性：実施

4

事務事業名	菊花大会開催事業	事務事業コード	141-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 みどり推進室	H30 みどり推進室	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	菊花の培養並びにその技術の向上、鑑賞市民の情操の融和を図り緑豊かな潤いのある街づくりを進めることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	日本を代表する花「菊」を大阪菊花会会員や市民が育てた菊花を羽曳野市民や近畿県民に対して披露し展示する。	各視点からの評価 妥当性	A
		有効性	A
		効率性	A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 7,348（7,348）	29年度（当初）予算額 7,297（7,297）	30年度実施の方向性：実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	緑化啓発	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	141-02		目的（どうしたいのか）	緑化への理解を深め、意識の高揚を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	4	みどり･空間整備						
施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	みどりの講習会開催事業	事務事業コード	141-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 みどり推進室　H30 みどり推進室
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	みどりの講習会受講希望者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	季節にあったテーマを選び自然を知り、緑をふやし育てる心と技術を学習し、講習会を通じて地域より緑の輪が全市へ広がるきっかけを作る。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	季節にあった花苗を選定し、講義や実習を通して身近な家庭園芸から緑化推進を行う。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	3,533	3,598	実施
	（3,413）	（3,418）	

2

事務事業名	グリーンフェスタ開催事業	事務事業コード	141-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 みどり推進室　H30 みどり推進室
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	豊かな「みどり」が人にもたらす恩恵の素晴らしさを理解してもらい、未来を担う子供たちが緑を愛し、守り、育むことを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	みどりに関する催し物の開催や花苗の無料配付等のイベントを開催する。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	11,948	8,331	実施
	（11,948）	（8,331）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	花とみどりあふれる環境整備	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	141-03		目的（どうしたいのか）	地域における交流の促進と活性化を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値（総計）	29年度 実績	32年度 目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	4	みどり･空間整備						
施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	アドプトロード推進事業	事務事業コード	141-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	H29 みどり推進室	H30 みどり推進室
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	地元小学校・中学校、高鷲駅前を育む会			
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	本会は、地域の顔である近鉄南大阪線「高鷲駅」周辺を行政・地域住民を含めた多様な関係者が協働して「美しく魅力あふれる駅前の空間づくり」を行なうとともに、この活動を通じて、地域の和を育み、心豊かな人づくり・笑顔と活気あふれるまちの創造を目指す。			
事務事業の概要 手段（事業内容）	小・中学校に土と花苗を支給し、学校内で育て、育苗後の花を学校緑化及び高鷲駅前に高鷲駅前を育む会とともに定植し、緑化推進を行う。			

29年度事務事業評価 （ 28年度実施事業 ） 最終結果				二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A
総合事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性	実施
	5,490	4,804			
	（ 5,490 ）	（ 4,804 ）			

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	公園の適切な維持管理	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	公園
基本事業コード	142-01		目的（どうしたいのか）	市民が安心して利用できる環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	4	みどり・空間整備						
施策の方向	2	身近な公園の維持管理体制の充実						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	公園管理事務事業	事務事業コード	142-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 道路公園課　H30 道路公園課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	公園利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市民が安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	・公園、緑地の定期安全点検　・日常清掃、公衆トイレ等の管理委託　・老朽化による施設や遊具のの修繕補修　・公園、緑地内の植栽の剪定や潅水、芝生の刈り込み　・病害虫の駆除等の管理作業　・公園駐車場の運営	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 53,971（53,357）　29年度（当初）予算額 57,834（57,055）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	公園等維持管理事業	事務事業コード	142-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）　担当 H29 維持管理課　H30 維持管理課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	公園・児童遊園	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	安全・安心、快適に使える	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	①公園維持管理に関する苦情の対応 ②遊具等の点検及び修繕 ③公園・緑地等の清掃・草刈り・樹木剪定及び防虫	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 20,547（20,547）　29年度（当初）予算額 18,041（18,041）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	憩いと交流の拠点づくり	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	143-01		目的（どうしたいのか）	憩いと安らぎを与え、交流が生まれる環境の整備を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	4	みどり･空間整備						
施策の方向	3	特色と親しみのある公園づくりの促進		1人あたりの都市公園面積	㎡	4.2	4.2	5.0
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名		事務事業コード				
	総計に基づく事業の進捗状況 （29年度）	継続・新規	法定・自治	担当 H29	H30		
	事務事業の概要	対象（誰を・何を）	29年度事務事業評価 （ 28年度実施事業 ） 最終結果			二次評価対象事業	
		目的（どうしたいのか）	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段（事業内容）	総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 ( )	29年度（当初）予算額 ( )	30年度実施の方向性	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	水道水の安全性の維持と継続	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	151-01		目的（どうしたいのか）	安全でおいしい水を供給する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	1	安全で安定した水の供給						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	水質管理事務事業	事務事業コード	151-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A	順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	H29	水道局工務課
H30	水道局工務課			
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	羽曳野市水道事業の設置等に関する条例の第2条の第2項の給水区域内住民		
	目的（どうしたいのか）	いつでも安全で安心して利用することのできる水道水の水質の管理を適正に行う		
	手段（事業内容）	水道法第4条で定められている水質基準を厳守し、取水時・送水時・末端等に至るまでの水道水について安心して利用席るよう日常的に水質の管理を行う。		

29年度事務事業評価 （ 28年度実施事業 ） 最終結果				二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A
総事業費（うち市負担額）	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性	実施	
単位：千円	35,364	40,028			
	（ 35,364 ）	（ 40,028 ）			

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	水道水の安定した供給の確立	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	水道施設等
基本事業コード	151-02		目的（どうしたいのか）	徹底した水道管理により、安定した給水を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	1	安全で安定した水の供給						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	水道管路管理事務事業	事務事業コード	151-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 水道局工務課	H30 水道局工務課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市水道事業の設置等に関する条例の第2条の第2項の給水区域内住民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	いつでも安全で安心して利用することのできる水道水を各家庭に安定して送水する管路の管理を適正に行う	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	送水管・配水管等の市内に約450kmある水道管の材料・口径・布設年度等を管理、管路の破損による漏水事故等の迅速な処置による管理等を日常的に行う	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 82,923（82,923）　29年度（当初）予算額 119,349（119,339）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	水道施設管理事務事業	事務事業コード	151-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 水道局工務課	H30 水道局工務課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市水道事業の設置等に関する条例の第2条の第2項の給水区域内住民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	安全で安心して利用することのできる水道水を安定して提供するための「つくる」「送る」「ためる」施設の管理を適正に行う	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	石川浄水場・壺井浄水場・羽曳山配水場・伊賀受水場・西浦受水場・低区第1配水池・低区第2配水池・高区配水池・壺井配水池等の「つくる」「送る」「ためる」水道施設を日常的に適正な管理を行う	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 710,906（710,906）　29年度（当初）予算額 875,673（875,673）
		30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	給水栓管理事務事業	事務事業コード	151-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	H29 水道局工務課	H30 水道局工務課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市水道事業の設置等に関する条例の第2条の第2項の給水区域内住民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	民間開発の配水給水管の布設や個人家屋の給水装置工事を新設・改造等の工事に、水道法及び羽曳野市水道事業給水条例に基づき、安全で安定した水道水の供給を適正に行う	総合評価・今後の方向性	改善して継続
事務事業の概要 手段（事業内容）	安全な水道水を安定して各家庭に提供するため、適正な管路の配置・管径・材料等の協議・指導を行うと伴にライフラインの一役を担うことから、給水装置工事を行う業者の指定に伴う審査等を行う	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 40,556（40,556）　29年度（当初）予算額 39,807（39,807）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	水道料金関連事務	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民等
基本事業コード	152-01		目的（どうしたいのか）	給水収益を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち
施策	5	上下水道
施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり
		（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり

総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）

1

事務事業名	水道料金徴収事務事業	事務事業コード	152-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 水道局総務課	H30 水道局総務課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	上水道利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	水道事業の経営安定化のための適正な水道料金の算定及び収納	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	水道メーターの検針から料金徴収までの事務委託	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	93,297	100,590	実施
	（ 36,715 ）	（ 35,633 ）	

2

事務事業名	水道メーター管理事務事業	事務事業コード	152-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 水道局総務課	H30 水道局総務課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	水道メーター（量水器）	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	適正な料金算定のために必要な水道メーター（量水器）の管理	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	計量法の検定期間満了に伴うメーター（量水器）取替・新設個数の把握、入・出庫管理	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	20,959	33,977	実施
	（ 20,959 ）	（ 33,977 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	総務事務	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民・水道局職員等
基本事業コード	152-02		目的（どうしたいのか）	適正な管理事務の推進を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	人事管理事務事業	事務事業コード	152-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 水道局総務課	H30	水道局総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	水道局在籍・過去在籍職員（正職員・再任用職員・非常勤職員・嘱託員含む）	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	適正な労務管理	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	給与・人事関連の管理、安全衛生委員会の運営	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 3,986（3,986）　29年度（当初）予算額 3,407（3,407）	30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	入札・契約事務事業	事務事業コード	152-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 水道局総務課	H30	水道局総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	入札・契約事務	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	公平・公正な入札、適正な契約事務の執行	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物品等の購入に係る入札・契約事務	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 27,069（27,069）　29年度（当初）予算額 27,511（27,511）	30年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	出納・会計事務事業	事務事業コード	152-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 水道局総務課	H30	水道局総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	水道事業会計	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	水道事業に係る全ての収入・支出を適切に処理し、実態に則した会計帳簿を作成することを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	水道事業として行う全ての経済活動に対応する伝票を正しく作成・起票する。また、年度末に地方公営企業法・羽曳野市水道事業会計規程に準拠して実態に即した財務諸表を作成する。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 21,385（21,385）　29年度（当初）予算額 19,968（19,968）	30年度実施の方向性	実施

4

事務事業名	広報事業	事務事業コード	152-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 水道局総務課	H30	水道局総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民・市内事業所・上水道利用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	水需要が伸び悩む中、常に安全・安心・低廉な水を供給していること等をPRすることにより、水道事業への理解を深めていただき、より多くの水道水を利用していただく。	総合評価・今後の方向性	改善して継続
事務事業の概要 手段（事業内容）	広報紙やホームページへの記事の掲載。本市浄水場で浄水した水を使用したボトルドウォーターのイベント等での配布、浄水場見学会の開催等。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額 2,964（2,964）　29年度（当初）予算額 4,017（4,017）	30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	健全な経営の推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	水道事業
基本事業コード	152-03		目的（どうしたいのか）	健全で計画的な運営を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	整備計画管理事務事業	事務事業コード	152-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	ー　達成・終了　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）　担当 H29 水道局総務課　H30 水道局総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	水道施設・管路の整備事業	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	水道施設・管路の健全性を維持しつつ着実に耐震化事業等を進めることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	水道施設・管路と水道事業を取り巻く外部環境の現状と将来見通しをもって整備計画を策定（改定）する。また、施設・管路の健全性を把握する指標や耐震化率をもとに整備状況を分析し、計画に沿った整備事業を実施できるよう局内調整を図る。	各視点からの評価	妥当性：A　有効性：A　効率性：A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	18,678	4,073	ー
	（18,678）	（4,073）	

2

事務事業名	財政計画管理事務事業	事務事業コード	152-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）　担当 H29 水道局総務課　H30 水道局総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	水道事業経営	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	健全かつ安定的な事業経営を持続的に行うことを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	整備事業費や起債額など収入・支出を詳細に検討して財政計画を策定（改定）する。また、各種指標を用いて経営状況を分析し、計画に沿った経営を行うよう局内調整を図る。	各視点からの評価	妥当性：A　有効性：A　効率性：A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	8,801	6,665	実施
	（8,801）	（6,665）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	災害に備えた管路・施設の整備	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	水道施設等
基本事業コード	153-01		目的（どうしたいのか）	地震等の災害に強い施設環境の整備を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	3	水道施設等の整備と更新		送配水管の耐震化率	%	22.5	27.8	33.0
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	管路・施設更新事業	事務事業コード	153-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 水道局工務課　H30 水道局工務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市水道事業の設置等に関する条例の第2条の第2項の給水区域内住民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業　＊
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	管路や施設の整備・更新を行い、耐震化を図ることにより、水道水の安全・安心・安定の確立を目指す	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	老朽化管路及び施設の耐震化を計画的・効率的・効果的に実施すると伴に下水や大阪ガス等の地下埋設物関係者と協働し、管路の整備・更新を行う	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 488,523（488,523）　29年度（当初）予算額 1,529,207（1,529,207）
		30年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	災害時体制整備事業	事務事業コード	153-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 H29 水道局工務課　H30 水道局工務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市水道事業の設置等に関する条例の第2条の第2項の給水区域内住民	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	南海・東南海地震など大規模地震や水害等の大規模災害に備え、資材物資の備蓄・配備等および活動訓練等による準備を行う	総合評価・今後の方向性	現状維持
事務事業の概要 手段（事業内容）	管路・施設の修繕や応急給水に必要な資材物資の備蓄及び配備を行うと伴に、有事の際の活動訓練を実施する	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A
		総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額 4,733（4,733）　29年度（当初）予算額 6,869（6,869）
		30年度実施の方向性	実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	快適な生活環境の確保	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	154-01		目的（どうしたいのか）	清潔で快適な生活環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち
施策	5	上下水道
施策の方向	4	下水道事業の推進
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり

総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
	下水道人口普及率	%	81.6	83.7	83.5

1

事務事業名	水洗化促進事業	事務事業コード	154-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	B　概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 下水道総務課	H30 下水道総務課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	公共下水道が整備済みの地区における下水道管(汚水)の未接続の家庭	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	公共下水道への未接続家庭をなくし、地域の水環境の保全に努める。下水道の接続率を上げ、公共下水道の健全経営に寄与する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
手段（事業内容）	下水道供用開始区域の未接続家庭を対象とした戸別訪問等により、下水道接続の啓発活動を行う。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	7,056	6,784	実施
	（ 7,056 ）	（ 6,784 ）	

2

事務事業名	汚水整備事業	事務事業コード	154-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）
担当	H29 下水道建設課	H30 下水道建設課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民全体	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	市民が衛生的で快適な生活が営めるように生活環境の改善と水質改善を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持
手段（事業内容）	生活排水を水路や側溝に流さず、汚水管によって処理場へ運んで処理した水を河川へ放流し、生活環境の改善と水質改善を図る事業。工事の測量、設計、家屋調査、水道管・ガス管等の移設を行い、汚水管渠工事及び宅内の汚水桝設置工事を行う。	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 B　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	1,362,810	1,276,172	実施
	（ 481,960 ）	（ 471,686 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	効果的な浸水対策の推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市民
基本事業コード	154-02		目的（どうしたいのか）	生命・財産等を浸水被害から守る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	4	下水道事業の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	雨水整備事業	事務事業コード	154-02-01
	総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）　担当 H29 下水道建設課　H30 下水道建設課
	事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民全体	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
	目的（どうしたいのか）	雨水による浸水等で、市民の生命・財産に危険が及ばないようにし、快適な生活を送れるまちとする。	総合評価・今後の方向性	現状維持
	手段（事業内容）	対象降雨に対し、雨水管渠等により、公共用水域に雨水を排水し、市民が住みよいまちづくりを行う事業。工事の測量、設計、家屋調査、水道管・ガス管等の移設を行い、雨水管渠等の工事を行	各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性
	93,074	95,288	実施
	（ 57,174 ）	（ 58,188 ）	

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	経営健全化の推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	下水道事業
基本事業コード	155-01		目的（どうしたいのか）	経営の健全化とともに透明性の向上を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	5	下水道事業の経営基盤の強化						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	下水道使用料徴収事務事業	事務事業コード	155-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（任意のもの）	担当 H29：下水道総務課　H30：下水道総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	下水道使用者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	下水道使用料を遅滞無く徴収することを目的とする。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	・下水道使用料徴収に関する業務・下水道使用料に係る排除量の認定業務・下水道使用料の徴収状況の管理及び滞納整理業務	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：64,988（64,988）　29年度（当初）予算額：73,279（73,279）　30年度実施の方向性：実施

2

事務事業名	受益者負担金賦課徴収事務事業	事務事業コード	155-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（任意のもの）	担当 H29：下水道総務課　H30：下水道総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	公共下水道整備事業によって利益を受ける受益者	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	受益者負担金を遅滞無く徴収することを目的とする。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	公共下水道整備事業によって受益者が所有(受益)する土地の面積に単位負担金(1㎡あたり450円)を乗じた額を賦課徴収する。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：9,312（9,312）　29年度（当初）予算額：10,236（10,236）　30年度実施の方向性：実施

3

事務事業名	地方債（下水道事業）管理事務事業	事務事業コード	155-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（任意のもの）	担当 H29：下水道総務課　H30：下水道総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	下水道事業に係る地方債の発行、償還及び残高	29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	世代間負担の均衡を保ち、後年度への過度な負担とならないよう縮減に努め、下水道事業の経営安定化を図る。	総合評価・今後の方向性：改善して継続	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 B
事務事業の概要 手段（事業内容）	・予算に基づき、大阪府に対し起債計画書を提出したうえで協議を行い、同意を得る。・年度末に、同意額の範囲内で必要な資金を公的資金又は民間資金により借入を行う。・将来の償還所要額と償還能力のバランスを勘案しながら適正な発行と残高圧縮を図る。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	28年度決算額：2,939,673（2,205,273）　29年度（当初）予算額：2,997,046（2,295,846）　30年度実施の方向性：実施

◎ 平成 30 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	下水道施設等の管理・更新	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	下水道施設等
基本事業コード	156-01		目的（どうしたいのか）	計画的な改築・修繕とともに耐震化を推進する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	29年度実績	32年度目標（総計）
施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち						
施策	5	上下水道						
施策の方向	6	下水道施設などの更新						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	下水道施設等管理事務事業	事務事業コード	156-01-01
	総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A 順調である	継続・新規	継続
	法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 H29	下水道総務課
	H30	下水道総務課		
	事務事業の概要 対象（誰を・何を）	ポンプやゲート等の下水道等の施設		
	事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	下水道施設等の運転管理を確実に行い、浸水の予防や水環境の保全に努める。		
	事務事業の概要 手段（事業内容）	下水道施設等の運転監視及び保全等の維持管理を行う。雨水ポンプ場1箇所、取水ゲート18箇所、貯留施設3箇所、雨水ポンプ1箇所、汚水中継ポンプ場1箇所、マンホールポンプ29箇所、水位監視カメラ5箇所。		

29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果				二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性	実施
	64,356	76,630			
	（ 62,251 ）	（ 74,530 ）			

2	事務事業名	下水道施設等改修事業	事務事業コード	156-01-02
	総計に基づく事業の進捗状況（29年度）	A 順調である	継続・新規	継続
	法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 H29	下水道総務課
	H30	下水道総務課		
	事務事業の概要 対象（誰を・何を）	下水道施設		
	事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	下水道施設の老朽化による機能停止や事故発生を未然に防止し、下水道サービスの安定化を図る。		
	事務事業の概要 手段（事業内容）	点検・調査を実施し、「下水道長寿命化計画」や「下水道ストックマネジメント」に基づく改築・修繕事業を実施する。		

29年度事務事業評価（28年度実施事業）最終結果				二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	B
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	28年度決算額	29年度（当初）予算額	30年度実施の方向性	実施
	50,077	247,993			
	（ 40,077 ）	（ 215,993 ）			